



東急ホテルズ&リゾート株式会社から木のおもちゃとテーブルを寄贈いただきました。平成 19 年に公益財団法人オイスカの仲介で三者協定を締結して以来、「東急ホテルズ・グリーンコインの森」の整備を通じた交流を続けていただいています。= 9 月 1 日、丹波山村保育所

広 報

たばやま

2026

10

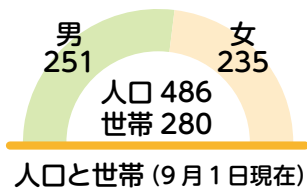
No.197

- トピックス
- 丹波山村らしさ発見・発信ワークショップ
 - 土砂災害想定し、官民連携訓練
 - 丹波山郵便局長を集落支援員に委嘱
 - 住民税非課税世帯へLPガス支援金

10 月 1 日から村外への広報紙の郵送を有料化します

広報紙の郵送をご希望の方は、返信用封筒に 110 円切手を貼付し、郵便番号、住所、氏名、電話番号、郵送希望の号を明記し、丹波山村役場まで郵送してください。返信用封筒は、角形 2 号 (240mm × 332mm) サイズをご用意ください。

丹波山村：山梨県北都留郡丹波山村 2450 TEL / 0428-88-0211
編集と発行 FAX / 0428-88-0207 E-mail / info@vill.tabayama.yamanashi.jp
協力：株式会社西の風新聞社



人口と世帯 (9 月 1 日現在)

村長室から

人口減少による担い手不足や、新型コロナウイルスの流行で、地域から恒例行事が姿を消してしまったという話を耳にします。そんな丹波山村では、鴨沢地区でこの夏、40 年

ある伝統のさら獅子舞やお松引きも、村外からの見物客・参加者が年々増えています。都市住民との交流ももちろんですが、新しく移住してきた人たちと、長く村で暮らす人



また、300 年以上の歴史がある伝統のさら獅子舞やお松引きも、村外からの見物客・参加者が年々増えています。都市住民との交流ももちろんですが、新しく移住してきた人たちと、長く村で暮らす人

たちが一緒になって盛り上がりつつある様子を見ると、「村づくりの理想郷」だと感じます。この秋も、舞茸祭、体育祭とイベントが続きます。体育祭は、小・中学校の運動会と合同開催になり、一生懸命な子どもたちと、子どもたちを応援する大人たちの姿で、にぎやかになっています。さらに 10 月 24 日 (土) には村で二拠点生活を送られているマキナスポーツさん発案の「NEO 無尽」も開催されます。村にお住まいの方は無料で入場できますので、ぜひふるってご参加いただければと思います。

小さくてもにぎやかな村

鴨沢小中学校跡地を会場に行われた盆踊り大会 7 月 15 日

ぶりに盆踊りが復活。丹波地区の盆踊りでは、昨年からの花火が上がるようになり、難しい時代に何かを復活させるというのは、なかなかできないことで、この先も続いていくことを願います。

今月のタバスキー

ぽすくまとハイチーズ

8 月 24 日に行われた日本郵便南関東支社との協定締結式に合わせ、日本郵便のオリジナルキャラクター・ぽすくまが丹波山村役場を訪れてくれました。切手の発売に合わせて誕生し、「ゆるキャラグランプリ 2016」の企業・その他部門で、第 1 位に選ばれているぽすくま。その人気ぶりに少しでもあやかりたいタバスキーは、すかさず 2 ショットでの写真撮影をリクエスト。願い続ければ、いつかタバスキーの切手もできるかも！





「丹波山村らしさ」を考える 住民参加型ワークショップを開催

丹波山村は、山梨県が今年度から始めた『市町村らしさ』発見・発信支援事業』のモデル自治体の一つに選ばれ、地域の魅力を「文化的テロワール」として再発見・発信する取組を行っています。デイスサービスの利用者や丹波小学校の児童、地域おこし協力隊、地域活性化起業人など村に関わる企業関係者の協力の下、7月から計4回のワークショップを実施。8月31日には、昨年10月に山梨県知事との意見交換に参加した芦澤小百合さ

ん（丹波山村社会福祉協議会）、嶋崎竜馬さん（丹波山村学校運営協議会）、酒井隆幸さん（株式会社丹波山倶楽部）、佐藤駿二さん（株式会社 Tree Lumber）、白木孝郎さん（三共建設株式会社）が村の代表として集まり、木下喜人村長を交え、丹波山村らしさについて議論しました。



きる、チャンスがある村」「伝承と革新の村」「おいしい」がふれる村」などの意見が挙がりました。今後、これまでに出了意見を整理し、10月16日に山梨県が開く中間発表会で報告します。

ワークショップに参加しませんか？

今回のワークショップ（11月末を予定）では、これまでに出了「丹波山村らしさ」や「地域の魅力」から、村の未来を見据えた取組を整理していきます。「これが実現できそう」「こんなことに挑戦したい」など、アイデアを持ち寄り、参加者同士で話し合います。どなたでもご参加いただけますので、多くの方のお越しをお待ちしています。開催日は改めてお知らせします。



警察、消防、三共建設による要救助者の救出訓練

豪雨と地震による土砂崩落を想定した災害対策訓練が9月3日、警察、消防、地元企業の協力で行われ、発災時にそれぞれが果たすべき役割や連携方法を確認しました。

訓練は、台風による豪雨の後、山梨県東部を震源とする最大震度6弱の地震が発生し、丹波山村でも震度5弱を観測。村内で土砂崩れが発生したという想定で実施しました。第1訓練では、小川保さ



ドローンによる偵察訓練を行った小川保さん（中央）

ん（『Mayfly imaging service』）がドローンで上空から現場を偵察し、発見した人を消防隊が救助。第2訓練では、三共建設株

がないたためヘリポートへ搬送したという流れで行いました。県警航空隊のヘリコプター「はやて」も登場しました。保育所、小中学校の子どもたちを含む

式会社が重機で土砂を撤去した後、県警機動隊、消防隊に要救助者の捜索を引き継ぎ、土砂に埋もれた小屋の中から取り残された人を救出。呼吸と意識



救助者の容体確認訓練を行う消防隊員

100人以上の住民が見学。訓練を終え、木下喜人村長は、「警察、消防、村内事業者の協力に感謝する。実際に



指揮本部では各部隊が連携しながら対応を確認

訓練を見て、安心した人も多いと思う。これからも村全体で防災意識を高めていきたい」とあいさつしました。

STOP！カスハラ カスタマーハラスメント対策研修を開催します

カスハラから従業員を守るために、また、自分自身がカスハラに該当する行為をしないために、カスタマーハラスメントについて、一から学びませんか？丹波山村人材育成アドバイザーの宮本義信氏を講師に迎え、研修を開催します。村内で事業を営まれている方をはじめ、どなたでもご参加いただけます。お気軽にご参加ください。

日時：① 10/26(月)14:00～15:00
② 10/26(月)16:00～17:00
③ 10/27(火)10:00～11:00 ※①～③とも同じ内容

場所：丹波山村役場2階大会議室

講師：株式会社ユコラ 宮本義信氏（丹波山村人材育成アドバイザー）

内容：カスハラとは？

正当な苦情との違い

カスハラを受けた時の対応 など

カスタマーハラスメント 防止条例を制定しました

今月の ニュース News

カスタマーハラスメント（カスハラ）への対応が令和8年10月から企業等に対して義務付けられるのに合わせ、「丹波山村カスタマーハラスメント防止条例」を制定しました。

カスタマーハラスメントとは、顧客等から就業者に對して行われる暴行、脅迫、その他の違法な行為や、正当な理由のない過度な要求、暴言、長時間の拘束等で、社会通念上許容される範囲を超えて就業環境が害される行為を指します。

この条例は、丹波山村役場で働く職員のほか、村内の職場で働く就業者も対象となります。ルールを定めることで、丹波山村において誰もが安心して働き、事業を営むことができる環境づくりを促進します。

東急ホテルズ&リゾート株式会社
から木製玩具をいただきました

東急ホテルズ&リゾート株式会社から丹波山村保育所へ寄贈していただいたのは、いずれも「やまなし水源

地ブランド推進協議会」が開発したおもちゃ3種とテーブル6つで、丹波山村を含む山梨県産の木材が使われているいま

す。子どもたちはさっそく新しいおもちゃで、木の手に触りや、音、においを感じながら遊んでいました。

同社では、ホテルの宿泊客がアメニティーを使用しなかった際に「グリーンコイン」をフロントに提出し、その相当額を公益財団法人オイスを通じて森林・緑化活動に充てています。

また、同社の従業員による森林整備ボランティア活動も、これまでも行われてい

る。約20年にわたる丹波山村との交流は、我々の財産になっている」と話しました。

津江会長らが出席。西野常務執行役員は、「デジタルのおもちゃもたくさんある中で、木のおもちゃは子どもたちの想像力を育んでくれる。約20年にわたる丹波山村との交流は、我々の財産になっている」と話しました。

9月1日に行われた寄贈式には、同社の西野知夫常務執行役員、オイスカ山梨県支部の田中美

で30回以上続いています。

「丹波山村らしさ」発見・発信ワークショップは、3、6年生の児童を対象に、丹波小学校でも行いました。まず、「たばやま

↓舞茸↓軽トラ」のように、しりとりをしながら丹波山村に関する言葉をつなぎ、グループごとに発表。続いて、一人ひとりが「丹波山村は○○な村」に当てはまる言葉を考えました。

「丹波山村らしさ」発見・発信ワークショップは、3、6年生の児童を対象に、丹波小学校でも行いました。まず、「たばやま

↓舞茸↓軽トラ」のように、しりとりをしながら丹波山村に関する言葉をつなぎ、グループごとに発表。続いて、一人ひとりが「丹波山村は○○な村」に当てはまる言葉を考えました。

丹波小児童が考える「丹波山村」とは？

・えがおがたくさんある村

・楽しく、やさしい村

・あいさつをしてくれる村

・多くの伝統がある村

・不便なようで不便じゃない村

・貴重な体験ができる村

など

東急ホテルズ&リゾート株式会社から丹波山村保育所へ寄贈していただいたのは、いずれも「やまなし水源

地ブランド推進協議会」が開発したおもちゃ3種とテーブル6つで、丹波山村を含む山梨県産の木材が使われているいま

す。子どもたちはさっそく新しいおもちゃで、木の手に触りや、音、においを感じながら遊んでいました。

同社では、ホテルの宿泊客がアメニティーを使用しなかった際に「グリーンコイン」をフロントに提出し、その相当額を公益財団法人オイスを通じて森林・緑化活動に充てています。

また、同社の従業員による森林整備ボランティア活動も、これまでも行われてい

る。約20年にわたる丹波山村との交流は、我々の財産になっている」と話しました。

津江会長らが出席。西野常務執行役員は、「デジタルのおもちゃもたくさんある中で、木のおもちゃは子どもたちの想像力を育んでくれる。約20年にわたる丹波山村との交流は、我々の財産になっている」と話しました。

9月1日に行われた寄贈式には、同社の西野知夫常務執行役員、オイスカ山梨県支部の田中美

で30回以上続いています。

丹波中学校
第58回清流祭

丹波中学校で9月12日、第58回清流祭が行われました。学年ごとの発表や、全校音楽での合奏・合唱、探求部での活動の成果を披露。今年のスローガン「BEST」のとおり、7人の生徒一人ひとりが自分の力を最大限発揮しました。

集落支援員

丹波山郵便局長を集落支援員に委嘱

日本郵便と連携協定

丹波山村はこのほど、日本郵便株式会社南関東支社と集落支援員業務の委託契約を締結し、9月1日付で丹波山郵便局の落合睦局長を丹波山村集落支援員（兼任型）に委嘱しました。地域住民を対象にした相談会を郵便局で開くなどし、村

と連携してより良い地域づくりに取り組みます。

郵便局員の集落支援員への委嘱は、山梨を含む南関東支管内では初めての事例で、全国で14番目。8月24日には丹波山村役場で協定締結式が行われ、木下喜人村長は、「隅々まで住民の顔が見える郵便局の特性を生かし、地域の困りごとなどを共有してもらい、住民にとって幸せな村づくりを一緒に進めたい」とあいさつ。田村浩紀支社長は、「郵便局ならではの視点で、村が掲げる『誰一人取り残さない村づくり』に貢献したい。丹波山村と同じような課題を抱えている地域の

また、8月21日には、木下喜人村長、守屋保志議長が、「小さな村87サミット」の首長らとともに林芳正総務大臣を訪問し、金融機関の撤退が相次ぐ過疎地域での郵便局の重要性を訴え、郵便局の安定的な存続や地域との連携促進、また、任意団体等が口座開設する際の手続きの簡易化などを要望しました。

林総務大臣（右から3人目）と意見交換する木下村長、守屋議長ら= 8月21日、総務省

地方創生

「関係人口との共創」

テーマに渋谷で対談

地域未来を考えるイベント「人口500人の村から考える地域の未来―小さな村だからこそ目指す関係人口との共創の形―」を8月23日にSHIBUYA QWSで開きました。当日は、木下喜人村長と、村のDXアドバイザーで、全国各地で関係人口経営の実践に取り組む青山達哉氏が対談。人口約500人の丹波山村で、地域と継続的に関わる「関係人口」とともに未来を築いていくための地域側の考え方、小さな村だからこそ実践できる地域経営の取組について意見を交わしました。

ハロウィンジャンボ4億円

(1等2億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ同時発売

ネットでも買える！

宝くじ

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

各1枚 300円

9月16日(水) 発売!

発売期間9/16(水)~10/16(金)

宝くじ公式サイト

公益財団法人山梨県市町村振興協会

お知らせ
Information

10月6日に「ふれあい昼食会」

食生活改善推進員会では、奥秋地区の 65 歳以上の方を対象に「ふれあい昼食会」を 10 月 6 日（火）午前 11 時 30 分から奥秋集会所で開きます。参加を希望する方は、10 月 2 日（金）までにご連絡ください。当日参加できない 70 歳以上の方には、配食があります。

【申込先】
社会福祉協議会 TEL：0428-88-0480

振り込め詐欺防止・交通安全講演会を開催

地域包括支援センターでは、10 月 27 日（火）午前 10 時から 11 時まで、社会福祉協議会 2 階集会室で、丹波駐在所の渡邊大暉巡查長による高齢者向けの「振り込め詐欺防止・交通安全講演会」を開きます。参加を希望される方は、10 月 19 日（月）までに、送迎の希望の有無と併せてご連絡ください。

【申込先】
社会福祉協議会 TEL：0428-88-0480

がん検診 愛する家族への 贈り物

10 月は、「がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーン月間」です。がんは日本国内の死因第 1 位です。がんによる死亡を減らすには、早期発見・早

期治療が重要です。丹波山村では、住民健診と同日に胃がん・大腸がん・肺がん・乳がんの検診が受けられます。定期的に検診を受けましょう。

10月17日に「労働相談会」

山梨県労働委員会委員では、10 月 17 日（土）午前 10 時から正午まで、午後 1 時から午後 3 時まで、山梨県立図書館交流ルームで、労働問題に関する相談会を開きます。退職や賃金、勤務条件の切り下げ、解雇・雇止・派遣切など安易な雇用調整、パワハラ等、職場のトラブル解決に向けた相談に、豊富な知識と経験のある弁護士・労働組合役員・会社役員などが応じます。相談は無料。10 月 9 日（金）午後 5 時までに予約が必要です。

【問い合わせ先】 山梨県労働委員会事務局 TEL：055-223-1827

住民税非課税世帯へLPガス支援金

山梨県では、LPガス（プロパンガス）料金の高騰による負担を軽減するため、LPガスを使用している住民税非課税世帯へ、1 世帯当たり 10,000 円の支援金を給付します。申請期限は、12 月 28 日（月）まで。QR コードから申請フォームを通じて申請するか、郵送で受け付けます。申請書は、住民生活課でもお渡しできます。

【問い合わせ先】
山梨県 LP ガス支援金
給付事業事務局
TEL：055-242-8491



食育ひろば

しいたけステーキ

一年中手に入る「しいたけ」ですが、旬は 3～5 月と 9～11 月です。肉厚で傘が開ききっておらず、傘の内側が純白なものが、鮮度が良いといわれています。秋のしいたけは、香りが高く、生しいたけは、低カロリーで栄養が豊富です。



作り方

- 生しいたけは石づきを取り、傘の部分にバツ（×）印の切り込みを入れる。
- 温めたフライパンにバターを入れ、しいたけの両面を焼き、塩・こしょうで味を調える。
- ②を皿に盛りつけ、お好みでポン酢をつけて食べる。

カルチャークラブ

入退室自由・
村民なら誰でも参加 OK！

【場所】 丹波山村役場 2 階大会議室

【時間】 午後 3 時～5 時

【内容】

- 2 日（金） 囲碁・将棋・健康麻雀
- 9 日（金） ストレッチ教室 ※（午後 3 時から）
／LEGO®（午後 4 時から）
- 16 日（金） 塗り絵・スケッチ
- 23 日（金） 手芸・編み物
- 30 日（金） 読書の会

※ストレッチ教室
元サッカーコーチで、地域おこし協力隊の佐藤啓人さんが教えるストレッチ教室です。子どもからご高齢の方まで、どなたでも無理なく取り組める内容です。動きやすい服装でお越しください。

※小学生以下のお子さまが参加される場合は、ぜひ保護者の方もご参加ください。
※手芸、編み物は材料をご持参ください。

【問い合わせ先】 教育委員会 0428-88-0211

小学生向け手芸
『ハギレで作る
キャンディバック』
仕上がりサイズ：タテ 14cm ×
ヨコ 14cm
【持ち物】 ◎柄の上下がない布：
タテ 31cm ×ヨコ 15cm 1 枚
◎持ち手用のリボン：24cm
※材料は
各自持参
してくだ
さい。



10月

カレンダー
ゴミ分別収集日程表

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1 	2  ・カルチャークラブ	3 ・村民体育祭
4	5 	6  ・鴨沢出張診療所 診察日 ・ふれあい昼食会	7 	8  ・心配ごと相談	9  ・カルチャークラブ	10
11	12 スポーツの日	13 	14  ・タバスキー スポーツクラブ	15 	16  ・カルチャークラブ	17 ・環境美化清掃
18	19 	20  ・行政相談	21 	22 	23  ・カルチャークラブ ・丹菅音楽祭	24 ・マキタスポーツの NEO 無尽 in 丹波 山村
25	26 	27  ・振り込め詐欺 防止・交通安全 講演会	28  ・タバスキー スポーツクラブ	29 	30  ・カルチャークラ ・出張移住相談会	31